

平成28年度 南魚沼市国語部 活動報告

部長 早川 政宏

1 研究主題

「言語活動を支えるコミュニケーション力の育成」

2 研究の概要

「言語活動の充実」はコミュニケーションの力と深くかかわっている。言語活動の充実とコミュニケーション力の育成について、両者がどのようにかかわっているのか、それぞれの力をどう育てていけばよいのか、南魚沼の児童の実態と照らし合わせ、実践研究を進めてきた。

今年度も国語科を含めた幅広い活動の中から、言語活動の充実とコミュニケーション力の育成を図る上で有効な指導法や活動に触れ、教師自身の体験をもとにその有効性を探ってきた。

3 研究の実際

(1) 国語部会および推進委員会の開催

南魚沼市(塩沢地区、六日町地区、大和地区)および湯沢町の4地区の推進委員が中心となって研修計画を立案し、実践する。

(2) 研修講座(南魚沼市学習指導センター)への参加

充実した研修講座等に積極的に参加し、会員および会員相互の実践研究に役立てる。

<参加者からの報告>

「国語科アクティブラーニング ～教室で文学を読むことの意味とは～」(期日：8月23日、会場：大和庁舎)

上越教育大学教職大学院准教授の佐藤多佳子先生を講師にお招きしての講演であった。生涯にわたって作品を楽しむ力をつけるために、作品の仕掛けを読み解くようなより深い学びが必要なことが分かった。

後半は中学校区ごとに集まり、国語科の小中連携について話し合った。「小1から中3までの授業スタイルの変化」「B学力問題に対応する力をつけるには？」等、具体的な内容について話し合い、とても参考になった。

(3) 国語部主催の実践研修会の実施

① 「教科書の編集委員と国語の授業改善について語り合う」(期日：8月19日、会場：サンライズ南魚沼)

実際に教科書の作成に携わった教科書会社の編集委員を講師に迎え、教科書編集の意図やねらいについて語ってもらい、教科書のより効果的な活用の仕方などについて参加者で話し合った。小学校の教科書でも、低学年・中学年・高学年と発達段階に応じて教材の配置が変えてあったり様々な工夫がなされていたりしたことに改めて気づき、新たな発見が多かった。



② 小・中学校合同書写指導講習会(期日：11月29日、会場：サンライズ南魚沼)



南魚沼で10年以上続いている国語部主催の伝統ある研修会である。新年に行われる各種書き初め大会に向け、その指導のポイントを講師の小林和彦先生から一人一人がアドバイスを頂きながらその腕を磨いた。また、同じ学年を担当している者同士で、子供たちへの指導のポイントや準備・後始末の仕方について話し合う等、会員相互の交流も深めることができた。

4 成果と課題

今年度の主催研修「教科書の編集委員と国語の授業改善を語り合う」からは、今、自分たちが使用している教科書の特長を知り、その良さを最大限に活かす授業を仕組むことが教師の役割である、という思いを新たにされた。今後は、授業の中での子供同士の「かかわり合う活動」を通じた言語活動の充実とコミュニケーション力の育成について研修を深めていきたい。